

復員廳第二復員局公報

第九二號

昭和二十二年三月六日(木)
第二復員局文書課

○令 達

復二第一五三號

復員廳地方復員局定員表中次ノヨウニ改正スル。

昭和二十二年二月二十八日

復員廳 總裁

吳地方復員局ノ部中大竹掃海部ノ項「二三」ヲ「二九」ニ、「六七」ヲ「八一」ニ、「一八四」ヲ「二〇八」ニ、下關掃海部ノ項「二五」ヲ「二七」ニ、「七八」ヲ「九〇」ニ、「三三七」ヲ「三三一」ニ改メル。

大阪地方復員局ノ部中阪神掃海部ノ項「四二」ヲ「二三」ニ、「二〇〇」ヲ「七七」ニ、「三二〇」ヲ「一一八」ニ改メル。
合計ノ項中「七四三」ヲ「七三二」ニ、「一六四六」ヲ「一六四九」ニ、「五〇七九」ヲ「四九九五」ニ改メル。

(參照 二月八日第二復員局公報)

復二第一五四號

昭和二十一年復二第一一號掃海基地設置ニ關スル件及ビ同年復二第二五八號徳山掃海基地ニ配スル人員ニ關スル件ハコレヲ廢止スル。

昭和二十二年二月二十八日

復員廳 總裁

復二第一五五號

復員廳分課規程中次ノヨウニ改正スル。

昭和二十二年二月二十八日

復員廳 總裁

別表第二ノ第二十八條表中横須賀地方復員局ノ項上陸地連絡所ノ欄「浦賀」ヲ削ル。

(參照 昭和二十一年六月二十日第二復員局公報)

復二第一五六號

復員廳地方復員局定員表中次ノヨウニ改正スル。

昭和二十二年二月二十八日

復員廳 總裁

横須賀地方復員局ノ部中浦賀上陸地連絡所ノ項ヲ削リ合計ノ項中「七三二」ヲ「七〇七」ニ、「一六四九」ヲ「一五九九」ニ、「四九九五」ヲ「四九四五」ニ改メル。

(參照 二月八日第二復員局公報)

復員廳第二復員局公報 第九二號 昭和二十二年三月六日

五三

復二第一五七號
當分ノ間掃海艦船ノ定員ハ別表ニヨリコレヲ試行スル。
昭和二十一年達第一五號掃海艦船等ノ定員試行ノ件ハコレヲ廢止スル。
昭和二十二年三月五日

復員廳總裁

(別表添)

(參照 昭和二十一年五月二十三日第二復員局公報)

復二第一五八號

昭和二十一年復二第七九號掃海艦竹生等ヲ掃海母艦ト呼稱等ノ件中次ノヨウニ改正スル。
昭和二十二年三月五日

復員廳總裁

第一項中「定員」ノ下ニ「(艦長ヲ除ク)」ヲ加エ第二項ノ次ノヨウニ改メ別表ヲ削ル。
前項ノ場合ニハ掃海母艦定員中乗組ノ人員ヲ所屬ノ掃海部又ハ掃海監部ニ臨時増置シ當該部長方乘艦ヲ命ズルモノトスル。

(參照 昭和二十一年七月十五日第二復員局公報)

○雜款

○郵便物發送先

特別保管艦 海第五五號 佐世保市福石町
佐世保管艦部氣付
同 海第一九八號 同
同 海第二二五號 同

○事務所

二月十日移轉 鳥取地方世話部第二復員課
鳥取市東町鳥取地方世話部内
二月十五日同 舞鶴地方復員局舞鶴上陸地連絡所
舞鶴市大字中田字平(舊平海兵團内)

○殘務整理

二月一日開始 吳管船部大竹支部殘務整理班
吳在泊特別保管艦宵月内

○轉官

昭和二十二年
三月二十日 地下資源調査所技手ニ 海軍技手 加々美時寬
轉官
臺灣總督府地方技師 海軍司政官 衣笠 勝
同 臺灣總督府地方技師 海軍司政官 植場喜久男
四月十五日 同 同 同 同
同 商工事務官ニ轉官 同 海軍教員 林 善三郎
同 臺中州屬ニ轉官 同 海軍技師 櫻井芳次郎
同 臺灣總督府技師ニ轉官 同 海軍技師 渡邊 裕
同 臺灣總督府地方技師ニ轉官 同 同 渡邊 裕
同 臺灣公立中等學校教諭ニ轉官 海軍司政官 小林 喜一

(復二第一五七號別表)

(昭和二十二年三月六日復員廳第二復員局公報)

掃海艦船定員表

官職名	二級事務官				三級事務官				雇員 備人				計	備考		
	艦船長	元兵科	元機關科	元醫務科	元主計科	元兵科	元機關科	元看護科	元主計科	元兵科	元機關科	元看護科			元主計科	
掃海母艦	1	3	1			6	4	1	2	7	6	1	2	34	三 雜船ノ定員ニハ囑託者ヲコレニ充テルコトガデキル。 二 本表ノ外大發及ビ雜船ニハ二隻毎ニ指揮官ニ充テルタメ三 百分ノ十ノ人員ヲ置クコトガデキル。 一 本表ノ外各艦船(掃海母艦及ビ試航船ヲ除ク)ニハ二級事務 官定員ノ各々百分ノ二十、三級事務官及ビ雇員備員ノ各々	
元驅潜特務艇	1	1				5	5			10	5		2	29		
元哨戒特務艇	1	1	1			8	3			10	4		2	30		
大發						1				3	2			6		
曳船		1				4	5			5	4			19		
雜船						2	1			5	2			10		
元特設掃海艇	1	2	1			15	6			15	6	1	2	49		
試航船	東亞丸	1	6	4	1	1	13	11	1	3	15	13	1	3		73
	桑丸	1	5	4	1	1	11	8	1	2	12	12		3		61

復員廳第二復員局公報

第九三號

昭和二十二年三月十日(月)

第二復員局文書課

○令 達

復二第一四四號

第二復員部内暫定支給規則ヲ次ノヤウニ制定スル。

昭和二十二年二月二十八日

復員廳總裁

第二復員部内暫定支給規則

第一條 官吏、同待遇者、囑託者、雇員及ビ傭人ニハ本則ニヨ

リ暫定支給額ヲ支給スル但シ左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハコノ限リデナイ。

一 俸給(報酬ヲ含ム以下之ニ同ジ)又ハ給料ノ支給ヲ受ケナイ者。

二 第二復員部内ノ勤務ヲ本務トシナイ者。

三 休職中ノ者。

四 外地又ハ外國ニアル者デ内地ニ扶養家族シ殘置シナイ者(特別輸送艦乗員トシテ派遣サレテ者ヲ除ク)。

第二條 暫定支給額ノ月額ハ俸給額ノ合計額ノ臨時勤務地手當加給額(外地又ハ外國ニアル者ヲ除ク)及ビ臨時家族手當加給額(兵ヲ除ク)ノ合計額トスル。

第三條 俸給額加給額ハ別表第一乃至第四ニヨル。

復員廳第二復員局公報 第九三號 昭和二十二年三月十日

第四條 臨時勤務地手當加給額ハ左ノ各號ニヨル。

一 第二復員部内臨時家族手當支給規則別表ノ甲地域ヲ勤務地トスル者ニアツテハ俸給又ハ給料ト俸給額加給額トノ合計額ノ二割ニ相當スル金額カラ臨時勤務地手當ノ額ヲ控除シタ額。

二 第二復員部内臨時家族手當支給規則別表ノ乙地域ヲ勤務地トスル者ニアツテハ俸給又ハ給料ト俸給額加給額トノ合計額ノ一割ニ相當スル額。

第五條 臨時家族手當加給額ハ月額二十回ニ第二復員部内臨時家族手當支給規則第三條及ビ第三條ノ二ノ規定ニ該當スル扶養家族ノ員數ヲ乘ジテ得タ金額トスル。

第六條 暫定支給額ハ俸給又ハ給料ノ支給定日ニコレヲ支給スル但シ轉勤、轉雇、轉備、退職、死亡等ノ場合ハ其ノ月分ノ全額ヲ支給スル。

第七條 暫定支給額ノ支給ヲ受ケル者ガ轉勤、轉雇又ハ轉備シタトキハ新所屬廳ニ於テハソノ翌月分カラコレヲ支給スル。

第八條 暫定支給額ハ左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハソノ開コレヲ支給シナイ。

一 俸給又ハ給料ノ支給シナイ月。

二 休職ノトキハソノ翌月カラ復職ノ前月迄。

復員廳第二復員局公報 第九三號 昭和二十二年三月十日

五七

復員廳第二復員局公報 第九三號 昭和二十二年三月十日

五八

三 留置、勾留、處刑又ハ被告事件ノ爲護送ノトキハソノ月
カラ取消又ハ釋放ノ前日ノ屬スル月迄。

第九條 本則ニ定メルモノヲ除クノ外暫定加給ノ支給ニツイテ
ハ俵給又ハ給料支給ノ例ニヨル。

附則

本則ハ昭和二十二年一月一日以後ノ給與ニツキコレヲ適用ス
ル。

昭和二十二年二月十日第五番電（二月十九日公報參照）ニヨリ

同年一月分及ビ二月分ノ暫定加給ヲ既ニ支給済ノ者ニツイテハ

本則ニヨリ計算シタ額カラ既ニ支給シタ額ヲ差引イテ支給ス
ル。

昭和二十二年一月一日現在在職中ノ者ニツイテハ本規則ニモト

ズク暫定加給額ノ額ノ十分ノ一額ヲ除外シ本年二月十日第五

番電第一號（イ）ニ該當スル者ニハ一率ニ百圓、同號（ロ）ニ該當スル

者ニハ一率ニ五十圓ヲ支給スル。

昭和二十二年二月十日第五番電ハコレヲ廢止スル。

（別表添）

○ 雜 款

○ 轉官

昭和二十二年 南洋廳技師ニ轉官

海軍技師 後藤 達夫

四月十五日

運輸技官ニ轉官

同 星野 常雄

二月十五日

同 三月二十六日 地方事務官ニ轉官 復員事務官 池田 黎一

(復二第一四四號別表第二)

(昭和二十二年三月十日復員廳第二復員局公報)

俸給報酬加給額 (官吏及び部内限官吏待遇職記者)

俸給、報酬	俸給報酬加給額	俸給、報酬	俸給報酬加給額	俸給、報酬	俸給報酬加給額
三〇〇 ^円	二九〇 ^円	六六〇 ^円	五八〇 ^円	一、二五〇 ^円	七九〇 ^円
三三〇	三二〇	七〇〇	六一〇	一、三〇〇	八一〇
三六〇	三五〇	七五〇	六三〇	一、三〇〇	八〇〇
三九〇	三八〇	八〇〇	六五〇	一、四〇〇	八〇〇
四二〇	四一〇	八五〇	六七〇	一、五〇〇	八〇〇
四六〇	四四〇	九〇〇	六九〇	一、六〇〇	八〇〇
五〇〇	四七〇	九五〇	七一〇	一、七〇〇	八〇〇
五四〇	四九〇	一、〇〇〇	七三〇	一、八〇〇	八〇〇
五八〇	五二〇	一、〇五〇	七五〇	一、九〇〇	八〇〇
六二〇	五五〇	一、一〇〇	七七〇	二、〇〇〇	八〇〇

備考
 嘱託者ニツイテ本表報酬ニ相當スル報酬ガナイトキノ加給額ハ現ニ受ケル報酬ノ直上位ノ報酬ノ加給額ニ依ル。

(復二第一四四號別表第二)

新指定加給月額

(昭和二十二年三月十日復員廳第三復員局公報)

給料加給額 (雇員及七傭人長)

給料	加給額料	給料	加給額料	給料	加給額料	給料	加給額料
一一〇〇	二四〇	四二〇	四一〇	七七〇	六三〇		
一一〇〇	二三〇	四〇〇	三九〇	七三〇	六一〇		
一一〇〇	二三〇	三八〇	三七〇	六九〇	五九〇	一、二〇〇	八一〇
一九〇	二二〇	三六〇	三五〇	六五〇	五七〇	一、一五〇	七九〇
一八〇	二二〇	三四〇	三三〇	六二〇	五五〇	一、一〇〇	七七〇
一七〇	二二〇	三三〇	三一〇	五九〇	五三〇	一、〇五〇	七五〇
一六〇	二二〇	三三〇	二九〇	五六〇	五一〇	一、〇〇〇	七三〇
一五〇	二二〇	二八〇	二八〇	五三〇	四九〇	九五〇	七一〇
一四〇	二二〇	二六〇	二七〇	五〇〇	四七〇	九〇〇	六九〇
一三〇	二二〇	二四〇	二六〇	四七〇	四五〇	八五〇	六七〇
一二〇	二二〇	二二〇	二五〇	四四〇	四三〇	八一〇	六五〇

(復二第一四四號別表第四)

俸給給料加給額

(内地又ハ外國ニシテ軍人軍屬ヲ扶養家族シテ殘置スル者)

(昭和二十二年三月十日復員廳第二復員局公報)

俸給給料	加俸給額料	俸給給料	加俸給額料	俸給給料	加俸給額料	俸給給料	加俸給額料
一〇〇〇	七三〇	七五〇	六三〇	五〇〇	四七〇	二二五	二七〇
九九〇	七三〇	七四〇	六二〇	四九〇	四七〇	二四〇	二六〇
九八〇	七二〇	七三〇	六一〇	四八〇	四六〇	二三〇	二五〇
九七〇	七二〇	七二〇	六一〇	四七〇	四五〇	二二〇	二四〇
九六〇	七一〇	七一〇	六一〇	四六〇	四四〇	二一〇	二三〇
九五〇	七一〇	七〇〇	六一〇	四五〇	四四〇	二〇〇	二三〇
九四〇	七〇〇	六九〇	六一〇	四四〇	四三〇	一九〇	二三〇
九三〇	七〇〇	六八〇	六一〇	四三〇	四二〇	一八〇	二三〇
九二〇	六九〇	六七〇	六一〇	四二〇	四一〇	一七〇	二三〇
九一〇	六九〇	六六〇	六一〇	四一〇	四〇〇	一六〇	二三〇
九〇〇	六八〇	六五〇	六一〇	四〇〇	三九〇	一五〇	二三〇
八九〇	六八〇	六四〇	六一〇	三九〇	三八〇	一四〇	二三〇
八八〇	六七〇	六三〇	六一〇	三八〇	三七〇	一三〇	二三〇
八七〇	六七〇	六二〇	六一〇	三七〇	三六〇	一二〇	二三〇
八六〇	六六〇	六一〇	六一〇	三六〇	三五〇	一一〇	二三〇
八五〇	六六〇	六〇〇	六一〇	三五〇	三四〇	一〇〇	二三〇
八四〇	六五〇	五九〇	六一〇	三四〇	三三〇	九〇	二三〇
八三〇	六五〇	五八〇	六一〇	三三〇	三二〇	八〇	二三〇
八二〇	六四〇	五七〇	六一〇	三二〇	三一〇	七〇	二三〇
八一〇	六四〇	五六〇	六一〇	三一〇	三〇〇	六〇	二三〇
八〇〇	六三〇	五五〇	六一〇	三〇〇	二九〇		二三〇
七九〇	六三〇	五四〇	六一〇	二九〇	二八〇		二三〇
七八〇	六三〇	五三〇	六一〇	二八〇	二八〇		二三〇
七七〇	六三〇	五二〇	六一〇	二七〇	二七〇		二三〇
七六〇	六三〇	五一〇	六一〇	二六〇	二六〇		二三〇

備考
本表俸給給料ニ相當スル俸給給料ガナイトキノ加給額ハ現ニ受ケル俸給給料ノ直近上位ノ俸給給料ノ加給額ニヨル。

復員廳第二復員局公報

第九四號

昭和二十二年三月十一日(火)

○通牒

二復人扶第一五號ノ八一
昭和二十二年二月十日

復員廳第二復員局人事部長
復員廳第二復員局經理部長

各地方復員局人事部長
各地方復員局經理部長
各地方世話部第二復員課長

引取人ノナイ遺骨(英靈)等ノ整理ニ關スル
件照會

首題ノ件、左記ニヨリ處理サレタイ。

記

一 處理方針

(イ) 傳達不能ノ遺骨(遺髮、爪、形見等、遺骨ニ代エ得ルモノヲ含ム、以下同)ハ、左ノ區分ニヨリ、舊海軍墓地ニ合祀スル。

種別	合祀場所
遺族住所不明ノモノ	所屬(二復在籍者ノ分ハ、ソノ本籍地所管) 地方復員局
引取人ノナイ單身者	舊海軍墓地

本人氏名不明ノモノ
現在安置中又ハ最寄りノ地方復員局舊海軍墓地

(ロ) 遺骨傳達式ニ際シ、遺族ニ支給スベキ所定ノ給與金ヲ未支出ノ分ハ遺族判明ノ際直ニ支給ヲ爲シ得ルヨウニ夫々所屬復員局經理部ニ於テ書類ヲ整備シ置クコト。既ニ支出済ノ給與金ヲ遺骨引取人ノ究明實施後尙遺族ノ所在不明デゾシテ處理スル。

(ハ) 遺留品及ビ遺留金ハ左ノ區分ニヨリ保管スル。

種別	遺留品及ビ現金	郵便貯金
遺族住所不明ノモノ	所屬(二復在籍者ノ分ハ、ソノ本籍地所管) 地方復員局人事部長ニ保管スル	日録書(通帳記號番號、預ケ人氏名ノ記載スル)ヲ添ハ原簿所管廳(貯金支局)ニ移管スル
引取人ノナイ單身者	部ニ保管スル	
氏名不明ノモノ	現在保管又ハ最寄りノ地方復員局人事部長ニ保管スル	

(ニ) 將來引取人ガ明ラカニナツタ場合ノ傳達、又ハ復員廳方

復員廳第二復員局公報 第九四號 昭和二十二年三月十一日

五九

1438

廢止サレル場合ノ移管等ヲ回滑ニスルタメ、必要ナ書類ヲ
整備シテオク。

二 處理要領

(イ) 遺骨引取人ノ究明

期日	二 月			三 月		
	上	中	下	上	中	下
二復 地復 人事 部	下記名簿ニツキ、 現住所變更ノ有無 ヲ調査スル。					
地方世話部第二復員課 又ハ地復人事部	二月一日現在引取人不明 ノタメ未傳達ノ遺骨(英 靈)名簿(イロハ順)ヲ 作成、二復地復人及 ビ各地方世話部ニ通報ス ル。 各部ハ右名簿ニツキ、自 己縣内ニツイテ引取 人ノ在否ヲ調査シ、若シ 在住者ガアレバ、コレヲ 關係各部ニ連絡スル。					

(ロ) 遺骨ノ移管

〔註〕 今後發表サレルモノデ、引取人ノ判明シナイモノ
ニツイテハ、毎月毎ニ區分シ、右要領ニ準ジ處理
スル。

右調査ヲ判明シナイ
イモノハ、官報新
聞等ニ掲載シ、全
國ニ通報スル。(要
領ハ別ニ定メル)

(ホ) 遺骨ノ合祀

〔註〕 今後發表サレルモノデ、引取人ノ判明シナイモノ
ニツイテハ、毎月毎ニ區分シ、右要領ニ準ジ處理
スル。

各地方復員局ハ、夫々舊海軍基地ニ、適宜ノ納骨施設ヲ設
ケ、引取人ノナイ遺骨ヲ順次ニ安置スル。
コノ場合遺族名ノ判明シテキルモノハ、個々ニ整理シテオ
キ、要スル場合、直チニ取り出シ得ルヨウニスル。(遺骨箱
材料モ成ルベク取りソロエテオクコト)

期日	二 月			三 月			四 月		
	上	中	下	上	中	下	上	中	下
二復 地復 人事 部一 地方世話部第二復員課	(引取人ノ究明)								
	(イ) 項ニヨリ判明シナイ遺骨ヲ 夫々地復人事部ニ移管スル								

警 當	書 類 名	調 整 要 領
各地復人事部	合祀記録	合祀ニ至ルマデノ主要ナ経緯、納骨施設建立ノ概要等、將來参考トナル事項ヲ記録スル。
各地世一復 (資料ヲ地復人事 部ニ提供)	合祀者名簿	(二)(一) 都道府縣市區町村別ニ作製スル。 所屬、官等、氏名、入籍番號、本籍、遺族名、戰歿狀況等記註ノコト。
各地復人事 (整)	遺留品名簿	(三) 遺骨ノナイモノニツイテモ別ニ作製ノコト。
二復人事 (資料ヲ各地復人事 部ニ提供)	遺留金名簿	(二)(一) 都道府縣市區町村別ニ作製スル。 所屬、官等、氏名、入籍番號、本籍、遺族名、遺留品種別、金額等記註ノコト。
各地復人事 (資料ヲ經理部ニ 提供)	未交付給與金明細表	(二)(一) 都道府縣市區町村別ニ作製スル。 給與金ノ種別、金額及ビ所屬、官等、氏名、本籍、受給者名記註等ノコト。
各地復經理部		

三 經費

本件處理ニ要スル費用ハ關係各經理部ニ協議ノコト。

四 其ノ他

(イ) 以上ニ關連シ、英靈傳達式終了後歸還シタ遺骨、殉職者遺骨等デ、未ダ遺族ニ傳達シテナイモノ、及ビ戰災等デ焼失シタ遺骨、遺留品ニツイテハ、關係各部デ、ソノ名簿

ヲ作製シ、二復各地復及ビ各地世二復ニ配付シテ、事務ノ促進、同消化ヲハカルコト。

(ロ) 納骨施設ノ建立ニ際シテハ、内務文部兩次官通牒「公葬等ニツイテ」ノ趣旨ヲ遵守ノコト。

○ 雜 談

復員廳第二復員局公報 第九四號 昭和二十二年三月十一日

1440

復員廳第二復員局公報

第九五號

昭和二十二年三月十二日(水)
第二復員局文書課

○令 達

復一第一六二號

榮昌丸、榮榮丸、東亞丸、わかき丸ノ各上欄ノ職ニアルモノハ特ニ發令セラレルモノノ外別ニ發令ヲ用ヒナイテ各下欄ノ職ニ補命セラレタモト心得ヨ。

昭和二十二年三月五日

復員廳 總裁

記

指揮官	船長
航海長	乗組
機雷長	
機關長	
軍醫長	
主計長	

復一第一七〇號
第二復員部内掃海手當支給規則ノ一部ヲ次ノヤウニ改正スル。

復員廳第二復員局公報 第九五號 昭和二十二年三月十二日

昭和二十二年三月十日

復員廳 總裁

第二條中「二回」ヲ「三回」ニ改メル。

附則
本令ハ昭和二十二年一月一日以後ノ給與ニツキコレヲ適用スル。

復一第一七一號

昭和二十一年勅令第百十號ニヨツテ臨時軍事費特別會計所屬ノ歳入金、歳出金ヲ一般會計ノ歳入、歳出ニ組入レ整理スルニ當リ次ノヤウニ定メラレタ。

昭和二十二年三月十日

復員廳 總裁

一 歳入

科目ハ左記ノ通りトシ既ニ收入済ノモノモコノ科目ニ適合スルヤウ更正ノコト。

記

大藏省主管 歳入臨時部

款	項	目	節
臨時軍事費特別會計整理收入			

復員廳第二復員局公報

第九六號

昭和二十二年三月十三日(木)
第二復員局文書課

○令 達

復二第一七五號

第二復員省職員共済組合規則施行細則ノ一部ヲ次ノヤツニ改正スル。

昭和二十二年二月十七日

復員廳 總裁

「第二復員省職員共済組合規則施行細則」ヲ「復員廳第二復員局職員共済組合規則施行細則」ニ改メル。

第一條中「第二復員省職員共済組合規則(以下規則ト稱ス)」ヲ

「復員廳第二復員局職員共済組合規則(以下規則ト稱ス)」ニ、

「第二復員省經理局長」ヲ「復員廳第二復員局經理部長」ニ、

「第二復員省」ヲ「復員廳第二復員局」ニ、「第二復員省地方復員局

經理部長」ヲ「復員廳地方復員局經理部長」ニ改メル。

第六條中「第二復員省經理局長」ヲ「復員廳第二復員局經理部

長」ニ改メル。

第二十九條中「第二復員省經理局長」ヲ「復員廳第二復員局經

理部長」ニ改メル。

第一號書式中「第二復員省職員共済組合員證」ヲ「復員廳第二

復員局職員共済組合員證」ニ、「第二復員省職員共済組合」ヲ

「復員廳第二復員局職員共済組合」ニ、「第二復員省經理局内」ヲ

「復員廳第二復員局經理部内」ニ、「第二復員省職員共済組合本

部」ヲ「復員廳第二復員局職員共済組合本部」ニ改メル。

第十一號書式「脱退」ノ項中「兵役」及ビ「微用解除」ノ欄竝

ニ「甲組合員」ノ項中「王員」ノ欄ヲ削リ、同項中「職員」ヲ

「三級官吏待遇嘱託員」ニ、「乙組合員」ノ項中「高等文官同待

遇者」ヲ「二級官吏」ニ、「判任文官同待遇者」ヲ「三級官吏」

ニ、「嘱託員」ヲ「二級官吏待遇嘱託員」ニ改メル。

第十二號書式備考第三號括弧中「年俸者ハ其ノ十二分ノ一額」

ヲ削ル。

第十三號書式中「年俸者」ノ項ヲ削ル。

附 則

コノ令達ハ昭和二十一年六月十五日カラ、コレヲ適用スル。

○通 牒

復二第一六九號

昭和二十二年三月十日

關係各廳長殿

周波數規正強化ニ關スル件照會

復員廳第二復員局長

復員廳第二復員局公報 第九六號 昭和二十二年三月十三日

六五

1444

首題ノ件ニツキ別紙昭和二十二年二月二十日附企第八號ニヨリ
逓信省電波局長カラ照會ガマツタノデ了知サレタイ。

(別紙)
企第八號

昭和二十二年二月二十日

逓信省電波局長

復員總長官殿

周波數規正強化ニツイテ

電波周波數ノ確度維持ニ關シテハ豫テ充分御配慮ノコトト思料
セラレルガ實際測定ノ結果ハナオ向上ノ餘地ガアル實狀デ、連
合軍最高司令部カラモ、我國無線電信、無線電話ノ管理統制ヲ
一層嚴重ニ實施スルヤウ指令ガ發セラレ之方統制ニツイテ周波
數ノ規正強化ヲ勵行シナケレバナライコトトナツタノデ左記
事項諒知ノ上割當周波數ヲ適確ニ維持スルヨウ特ニ御協力願イ
タイ。命ニヨツテ傳達スル。

記

- 一 指定サレタ周波數ノ許容偏差ハ客年四月二十三日附逓測第
三六號通牒(電波使用ノ適正化ニ關スル件)ニ拘ラズ振幅變
調ヲ用ヘルモノニ於テ左ノ通りデアルカラコノ範圍ヲ超エヌ
コウ、嚴重ヲ注意ヲ要スル。
- 1 一〇ke乃至五五〇keノ周波數ヲ使用スルモノノ許容偏差
ハ〇・一%放送局(五五〇ke乃至一五〇〇keノ周波數ヲ使用

2 スルモノ)ノ周波數許容偏差二〇サイクルデアルコト。
其他ノ周波數ニツイテハ左表ニヨルコト。

施設ノ種別	許容偏差	
	至三〇Mc 以上	三〇Mc以 下
固定業務施設	〇・一%	〇・二%
移動業務陸上施設	〇・二%	〇・三%
氣象通信施設	〇・一%	〇・二%
船舶向放送施設	〇・一%	〇・二%
無線標識施設	〇・一%	〇・二%
無線電話放送施設(含中繼)	〇・〇・五%	〇・〇・五%
可搬用施設	〇・二%	〇・三%
移動用施設	〇・二%	〇・三%
出力一W以下ノ移動用施設	〇・〇・五%	〇・一〇%

- 二 周波數偏差方前項ノ許容偏差ノソレゾレニ倍ヲ超エタトキ
ハ、許容偏差以内ヘ回復スル迄ソノ周波數ノ使用ヲ停止サセ
ル。
- 三 周波數偏差方前號ニ滿タナイモノデモ許容範圍内ニ收マル
見込ノナイモノハソノ狀態ノ回復スル迄使用ヲ停止サセル。
- 四 前二號ノ停止ハ電波局長又ハ電波觀測所長カラ直接ソノ無
線施設ニ對シテ指示スルカラ行遠イノナイヨウ豫メ關係ノ向
ヘ通告シ置カレタイ。

五 使用停止ヲ命ゼラレタ周波數ニヨル通信ノ開始ニツイテハ
規正ヲ確認シタ上デ指示スルカラ、コノ間擔當ノ電波觀測所
又ハ電波局ト密接ヲ連絡シ保ツコトヲ要スル。
六 本通達ニ基イデ發スル指示ニ違背シ重大ナ不都合ヲ生ジタ
トキハ、施設ノ許可又ハ承認ノ取消、若ハ使用ノ停止ヲ命ズ
ル。

復二第一七四號

昭和二十二年三月十一日

復員廳第二復員局文書課長

關係各廳長殿

參議院議員選舉運動ノ張札等ノ取扱ニ關スル
件通牒

首題ノ件別紙ノヤウニ移牒ガアツタカラ了知サレタイ。

(別紙)

内閣内乙第八號

昭和二十二年二月二十七日

内閣官房總務課長

復員廳總裁官房長殿

參議員議員選舉運動ノ張札等ノ取扱ニツイテ

標記ノ件ニ關シ別紙ノトオリ内務次官カラ申越ガアツタカラ命
ニヨリ移牒スル。

昭和二十二年二月二十四日

復員廳第二復員局公報 第九六號

昭和二十二年三月十三日

内務次官 官 函
内閣書記官長殿

參議院議員選舉運動ノ張札等ノ取扱ニツイテ

本日付内務省令第十一號ヲモツテ、(二月二十四日官報參照)參
議院議員選舉運動取締規則ヲ公布、即日施行ノコトト致シタガ、
同規則第五條ニ、何人モ、原則トシテ、國若シクハ地方公共團
體ノ所有又ハ管理スル建物、其ノ他一切ノモノニ、選舉運動ノ
タメノ張札ヲ、掲示スルコトガデキナイ趣旨ノコトヲ規定致シ
タ。
石ハ、官公廳ノ所有或ハ保管スル建物其ノ他一切ノモノガ特定
ノ候補者ノタメニ、便宜供與サレル弊害ヲ防止セントスル趣旨
ニヨリ一般ニ禁止シヨウトスルモノデアツテ、本條ノ完全
ナ履行ハ特ニ嚴格ニ要請サレルノデ、貴廳及貴廳所管ノ廳ニ對
シ、第五條俱書ノ場合ヲ除キ、選舉運動ノタメノ文書圖書ノ掲
示ヲ承諾シ或ハ掲示サセテハナラナイコトヲ周知徹底方御高配
ヲ煩ハシタイ。

二復總第八一號

昭和二十二年二月二十二日

復員廳第二復員局總務部長

關係各廳長殿

鑛務保管實施要領ノ件通牒

首題ノ件別紙ノ通り定メラレタカラ了知サレタイ。

六七

1446

雑役船保管實施要領

- 一 本保管實施要領ヲ雑役船トハ一九四六年七月十二日 OOB Nav. Jap Serial 1045 ニモツテ第二復員局ガ責任ヲモツテ保管スルコトヲ命ゼラレタ艦船中特別輸送艦船、掃海艦船、特別保管艦(特ヲ含ム)行動不能艦艇(特ヲ含ム)ヲ除ク一切ノ舟艇(既ニ内務省ニ移管済ノモノヲ除ク)ヲ總稱シ、ソノ保管ハ管船規程ニヨル外本保管實施要領ニヨツテ行フ。
 - 二 各地方復員局長ハ左ノ標準ニヨリ所管雑役船配屬ヲ決定スル。
 - 使用中ノ雑役船……各任務ニヨリ管船部又ハ掃海部或ハ補給部等
 - 保管中ノ雑役船……管船部
 但シ必要ニ應ジテ第二復員局長ハ雑役船所管ノ變更ソノ他ノコトヲ指令スルコトガアル。
 - 又雑役船ノ乗員ハ特別ノ理由ノナイ限リソノ雑役船ノ配屬變更ト共ニソノ新所轄ニ所屬ヲ變更スルモノトスル。
 - 三 各地方復員局長ハ管船部長ヲシテ雑役船ノ調査ニ任ゼシメル。
 - 四 雑役船中一〇〇噸以上ノモノ(一〇〇噸ノモノヲ含ム)以下之ニ做フ)ヲ雑役船(甲)一〇〇噸未満ノモノヲ雑役船(乙)ト呼稱スル。
- 雑役船中各地方復員局管船部、管船班、掃海部、補給部等ニ

- 於テ使用スル必要ガナクナリ内務省ニ移管スルマデ現狀ノマ保管サセラレルモノヲ雑役船(特)ト呼稱スル。
- 五 各地方復員局長ハ雑役船(特)トスル必要ヲ認メタ場合ニハ速ニ理由ヲ附ケテ具申スル。
 - 六 第二復員局長ハ右其中ニ基イテ他ノ地方復員局ニオイテ使用セシメル必要ナル場合ニハ所管變更ヲ、又ソノ必要ヲ認メナイ場合ニハ特別ノ場合ヲ除キ當該地方復員局カラ内務省(該雑役船所在ノ都道府縣廳)ニ移管ヲ指令スル當該地方復員局長ハ右指令ニ基イテ速ニ所管變更又ハ移管ヲナシ、ソノ旨中央ニ報告スル、但シ内務省ニ移管ノ場合ニハ解撤艦艇引渡要領ニ準ジテ行ヒ引渡書、領收書各一通ヲ添エ中央ニ報告シ第二復員局長ハコレヲ OOB Serial 1048 ニ報告スル。
 - 七 雑役船(甲) 特殊物件處理委員會船部會決定。
 - 八 雑役船(乙) 地方特殊物件處理委員會船部會決定。
 - 九 各地方復員局長ハ毎月々頭別紙様式ニヨツテ雑役船月頭報告ニ通テ調製シテ十日迄ニ到達スルヨウ中央ニ提出スル。
 - 十 雑役船保管上特ニ必要ナ經費ハ必要ノ都度當該地方復員局經理部ニ協議スル。

雑役船種別 (Specification of Miscellaneous Vessels)

救難兼曳船	Tug salvage Boat	重油船	Heavy-oil Barge
曳船	Tug-boat	軽質油船	Gasoline Barge
交通船兼曳船	Tug-traffic Boat	潤滑油船	Lubrication-oil Barge
内火艇	Motor-boat	起重機船	Crane-ship
高速艇	High-speed launch	浚渫船	Dredger
長官艇	Admirals launch	泥受船	Mud scow
内火ランチ	Motor-lanch	岩砕船	Rock-smash Ship
カツター	Cutter	橋船	Pontoon
内火傳馬船	Motor-Sampan	標的船	Target ship
傳馬船	Sampan	浮船塹	Floating Dock
運貨船	Freight lighter	測量艇	Surveying Boat
シヤラン型運貨船	Sharan-Typed Freight lighter	動力船	Power ship
ダルマ型運貨船	Daruma-Typed	康船	Carbage ship
團平型運貨船	Danpei-Typed	消火艇	Fire boat
特型運貨船	Toku-typed	電纜敷設船	Cable-layer
飛行機運搬船	Aircraft Barge	海洋観測船	Observatory ship
魚雷運搬船	Torpedo Barge	練習船	Training ship
糧食配給船	Provision Barge	冷凍船	Refrigerator ship
水船	Water Barge	潜水作業艇	Diving boat
汽艇	Steam-Boat	大小發	Daihatsu Shōhatsn

(別表第二)

(昭和二十二年三月十三日復員總局第二復員局公報)

雜 役 船 配 員 標 準

船 種	定 員	甲 板	機 關	計
曳 船	200 噸 以 上	5	4	9
	100 噸 以 上	4	3	7
	100 噸 未 滿	3	2	5
	50 噸 未 滿	2	2	4
運 船 貨	200 噸 以 上	4	2	6
	100 噸 以 上	3	2	5
	100 噸 未 滿	2	1	3
内 火 艇		2	1	3
汽 艇		2	2	4
ラ ン チ		2	1	3
大 發		2	2	4

(別紙)

雑役船月頭報告

(昭和二十二年三月十三日復員廳第二復員局公報)

一 保管雑役船現状報告

(イ) 雑役船(甲)

公番	船種	噸數	機關馬力	現在地	現狀	現使用廳	記事

(ロ) 雑役船(乙)

同 右

(ハ) 雑役船(特)

同 右

二 前月中ニ内務省ニ移管シタモノ

特別乙	公番	船種	噸數	機關馬力	現在地	現狀	移管期日	記事

但シ四月以後ハ番號ノ項ハ復員局雑役船一貫番號ヲ使用シ記入ノゴト

復員廳第二復員局公報

第九七號

昭和二十二年三月十四日(金)
第二復員局文書課

○令 達

復二第一七七號

横須賀地方復員局所管

特別輸送艦 海第十四號

右ノ特別保管艦ニ指定スル。

昭和二十二年三月十日

復員廳總裁

○通 牒

復二第一七六號

現況不明者最終處理實施計畫別紙ノ通り定メル。

昭和二十二年三月一日

復員廳第二復員局長

一 方針

現況不明者ノ最終處理方復員業務中最モ重大且ツ困難デアツテ、シカモ迅速ヲ要スル事項デアルコトニ鑑ミ、關係各廳ハ統制アル方針ノ下ニ相互連絡ヲ緊密ニシテ手段ヲ盡シテ情況ヲ調査究明シ復員業務ノ速カナル完遂ヲ計ルタメ概ネ左ノ計畫

復員廳第二復員局公報 第九七號

昭和二十二年三月十四日

六九

- ニ依リ之ヲ實施スル。
- (イ) 昭和二十二年三月末迄ニ大部ノ戰歿認定ヲ實施シ八月末迄ニ殘部ヲ完了スルヲ目標トスル。
- (ロ) 部隊別ノ情況究明ハ三月末完了ヲ目標トスル。
- (ハ) 個人別ノ情況究明ハ第一段處置トシテ閣令第六十四號ニ依ル未歸還者調査(以下ハ、一調査ト略稱スル)ノ整備ヲ日進トシ地方復員局人事部各別ニ實施シテ四月末迄ニ之ヲ終了シ第二段處置トシテ五月ヨリ第二復員局統制ノ下ニ全國的調査ヲ行ヒ七月末迄ニ之ヲ終了スル。
- (ニ) 各人等部ハ凡ユル工夫ヲ凝ラシテ事務能率ノ向上ヲ計リ當ニ右目標期日ニ先行セシメル様努メル。
- (ホ) 第一復員局ト少調ヲ合セ特ニ市區町村等部外トノ交渉事項ニ付テハ極力同一方式ヲ行ウコトニ努メル。
- 二 關係各廳ノ業務分擔
 - (イ) 第二復員局人事部(調査班)
 - 、現況不明者ノ調査究明ニ關スル企劃統制
 - 戰歿認定資料ノ蒐集整理並ビニ配布
 - (ロ) 地方復員局人事部
 - 管内現況不明者ノ調査並ビニ管内地方世話部ノ業務統制
 - 戰歿認定資料ノ蒐集整理

1451

(ハ) 地方世話部

管内現況不明者ノ調査

管内既復員者留守擔當者ヨリ情報蒐集

(ニ) 残務整理班

當該所轄ノ人員ノ調査

(ホ) 上陸地連絡所

歸還者ヨリ情報蒐集

三 部隊別究明要領

(イ) 潰滅又ハ被害甚大ノ部隊、海没艦船等ノ最後ノ情況ヲ調査究明シ所屬人員ノ戰歿認定資料ヲ得ルヲ目的トスル。

(ロ) 本究明ハ第二復員局人事部調査班(以下調査班ト略稱スル)主トシテ之ヲ行ヒ、地方復員局人事部、残務整理班等之ヲ補助スル。

(ハ) 各人事部ハ調査究明ヲ要スル部隊艦船名ヲ速ニ調査班ニ通報スル。

(ニ) 調査班ハ速カニ左ノ資料ヲ調製スル。

(1) 情況不明部隊艦船名簿

(2) 昭和十九年六月以降ノ在外部隊異動表

(3) 同 右 海没輸送船(乗船部隊)表

(4) 同 右 應急戰備部隊指揮官名簿

(防空隊、高角砲隊、機銃隊、防空幹部隊、照察隊、(震)洋隊、射撃隊、特設見張所等)ニ付調製

(5) 所要部隊艦船戰歿認定資料等

(ホ) 各部ハ積極的ニ資料ノ蒐集ヲ行ツ外、此際現有書類ヲ徹

底的ニ再整理シテ退蔵資料ノ發見利用ニ努メル。

(ハ) 適時戰歿認定會議ヲ開キ部隊別ニ戰歿認定期日及ビ場所ヲ決定スル。

第一回 二月中旬 於吳

第二回 四月中旬 於舞鶴

四 個人別究明要領

(イ) 八、一調査ヲ究明ノ基礎トシ各人事部ハ地方世話部ヲ活用シテ關係地方機關ノ協力ヲ求メ速ニ調査究明スル。

(ロ) 第一段處置

地方復員局人事部各別ニ計畫實施シ四月末迄ニ整理ヲ終了スル。

其ノ結果ニ基キ各地方復員局人事部ハ五月中旬迄ニ五月一日現在ノ部隊別都道府縣別現況不明者名簿ヲ作製スル(様式別表)

(ハ) 第二段處置

第二復員局人事部ハ各地方復員局人事部ノ作製シテ前項ノ現況不明者名簿(中央配員)現況不明者名簿ヲ加ウ)シ地方世話部ニ配布シ地方世話部ハ關係地方機關ノ協力ヲ得テ調査スル。

本調査ハ七月末迄ニ整理完了ヲ目途トシ各人事部地方世話部ハ積極的ニ地方官廳ニ人員ヲ派遣シ作業ノ促進ニ努メル。

(ニ) 復員事務未了者ノ處理

八、一調査ノ對象トナラナカウタ内地復員未處理者ノ整理ヲ至急實施スル、之方爲各人事部ハ速ニ葉書照會ヲ行ヒ四月末迄ニ整理スル。

外地ヨリノ歸還者ノ未處理者ノ究明ハ上陸地連絡所ノ報告ノ再調査、各地方機關ヘノ照會等ニ依リ四月末迄ニ整理スル。

(ホ) 第二復員局人事部ハ在外殘留者名簿ヲ作製スル。

(ヘ) 戰災等ニ依リ調査ノ基本トナルベキ資料(履歴原表、配員名簿等)ノ缺損シテ居ルトコロヲ至急整備スル。

(ト) 所管別不明ノ未歸還者ノ處理ハ居住地所管ノ地方復員局人事部ノ擔當トスル。

五 戰歿認定後ノ諸業務

扶助課ノ行ウ諸業務竝ビニ業績關係業務等戰歿認定ニ伴ウ業務ノ進行ヲ極力促進シ、今後短期間ニ大量ノ認定ヲ行ウ場合、速カニ之ヲ消化シ最終處理全般ノ早期完了ヲ期スル。

(別表添)

○ 雜 款

○ 正誤

三月十一日附復員廳第二復員局公報第九四號通牒欄「復員扶第一五號ノ八一(ホ)調製書類ノ項末尾「受給者名記註等ノコト」ハ「受給者名等記註ノコト」ノ誤。

復員廳第二復員局公報

第九八號

昭和二十二年三月十七日(月)

第二復員局文書課

○令 達

復二第一七八號

昭和二十一年復二三三二六號特別輸送艦船ノ定員ノ件中央ノヨ
ウニ改正スル。

昭和二十二年三月十四日

復員廳總裁

別表ヲ別表第一トシ別表第二ヲ別表ノヨウニ定メル。

(別表添)

(参照) 十月二十九日第二復員局公報

○通 牒

二復總第四八四號

昭和二十二年三月十四日

復員廳第二復員局總務部長

關係各廳長殿

S・S艇保管要員追加ノ件通牒

二復總第七番電(二月八日)ニヨリ新ニ保管スルコトニナツタ
舊陸軍所屬S・S艇保管要員ヲ別紙ノ通り定メ復二第八八號管

船規程(二月七日公報)別紙管船關係要員配置標準ニ追加サレ
タカラ了知サレタイ。

(別紙添)

二復入扶第一五號ノ一一〇

昭和二十二年二月二十二日

復員廳第二復員局人事部長

各地方復員局人事部長殿

死亡報告手續變更ニ關スル件通牒

首題ノ件、復員廳總裁官房長ヨリ、司法省民事局長ニ對シ、別
紙甲ノ通り照會サレタトコロ、別紙乙ノ通り回答ガアツタカラ、
今後處理ノモノニツイテハ、コレニヨルコトトサレタイ。

(別紙甲)

復第八號

死亡報告手續變更ニ就テ

昭和二十二年二月二十八日

復員廳總裁官房長

司法省民事局長殿

軍人軍屬トシテ在職中ニ死亡シタ陸海軍軍人軍屬中戦死者、戦
死確認者及水難、火災ニ因ル死亡者ニ付テハ地方世話部長(陸

復員廳第二復員局公報 第九八號 昭和二十二年三月十七日

七三

1455

軍關係)又ハ第二復員局人事部長、各地方復員局人事部長(海軍關係)ガ死亡報告書ニ據リ死亡者ノ本籍地市區町村長ニ戸籍法第十九條ニ據ル報告ヲ爲シ其ノ他ノ死亡者ニ付テハ地方世話部長(陸軍關係)又ハ第二復員局人事部長、各地方復員局人事部長(海軍關係)ノ證明ニ據リ留守擔當者ガ其ノ本籍地市區町村長ニ戸籍法第十九條ニ據ル死亡報告ヲ爲ス様ニナツテ居ルガ此等在職中ノ死亡者ハ總テ復員官署及地方世話部ニ於テ其ノ死亡事實ヲ認定(判定)(確認)シテ手續スルノデアアルカラ從來ノ二様ノ手續ヲ廢止シ地方世話部長(陸軍關係)又ハ第二復員局人事部長、各地方復員局人事部長(海軍關係)カラ直接本籍地市區町村長(死亡方内地で發生シタ場合ハ其ノ地ノ市區町村長)ニ戸籍法第十九條ニ據ル死亡報告(昭和二十一年九月三十日以前ニ死亡シタ者ニ就テハ從來ノ様式ニヨリ同年十月一日以降ニ死亡シタ者ニ就テハ昭和二十一年司法省令第八十一號附錄第四様式ニヨリ)ヲ行フコトニ統一シタイカラ照會スル。

追而異存ナキ時ハ關係官署ニ通知サレタイ。

(別紙乙)

司法省
民事局 民事甲第一〇四號

昭和二十二年二月十三日

司法省民事局長 奥野健一

復員廳總裁官房長殿

死亡報告手續變更ニ關スル件

客月二十八日附復第八號ノモツテ、御照會ノ標記ノ件ニツイテハ、貴見ノ通りノ取扱ニテ別段異存ハナイ。右回答イクシマ

(二復總第四八四號別紙)

(昭和二十二年三月十七日復員廳第二復員局公報)

管船基地	管出船張部所	保管 S S、S B 艇	S S、S B 艇 乘員				S S、S B 艇 豫備員		計	總計
			二級	三級	雇傭人	計	雇傭人	計		
大	湊	S S 23	1	1	3	5	1	1	6	6
吳		S B 101、S B 108、※S B 112、S B 126	3	3	9	15	3	3	18	18
佐	關門	S S 13、※S S 16、S B 103、S B 104、S B 105	4	4	12	20	4	4	24	48
世	博多	※S B 107、S B 110、S B 116、S B 117	3	3	9	15	3	3	18	
保	鹿兒島	S B 106	1	1	3	5	1	1	6	
舞		S B 111、S B 119、S B 122、S B 124	4	4	12	20	4	4	24	30
鶴	伏木	S B 121	1	1	3	5	1	1	6	
	計	S S 艇 3隻 S B 艇 17隻	17	17	51	85	17	17	102	102

註 ※印ハ所在不明ノモノヲ示シ、ソノ保管員ヲ含メテイナイ。

1457

(復二第一七八號別表第二)

(昭和二十二年三月十七日復員廳第二復員局公報)

特別輸送艦船定員表

區 分 艦 船 名	二級事務官、三級事務官(元准士官)							三級事務官(元下士官)、雇員															總 計	備 考					
	元兵科ノモノ		元機關科ノモノ		元主計科ノモノ	元醫務科ノモノ	合 計	元水兵科ノモノ					元機關科ノモノ					元主計科ノモノ			元ノ 看 護 科 計	合 計							
	艦長	航海長	乗組長	機關長	乗組長	主計長		醫務長	操舵	應急	信號	電信	其他	計	主機	補機	罐	電機	内火	無章					計	經理	衣糧	無章	計
元水雷艇	1	1	1	1	0 3	1	1	10	2	2	3	4	11	22	3	2	3	2	1	23	34	1	1	3	5	1	62	72	一、同一欄中上方ノ數字ハ中央ニテ、下方ノ數字ハ地方ニテ配員スル 二、機關長ノ中央地方配員別ハ別ニ指示スル ノヲ標準トスル。
元驅潜艇	1	1	1	1	0 2			7	2	2	3	2	12	21		1		2	2	10	15	1	1	1	3	1	40	47	
元敷設特務艇	1	1	1	1	0 2			7	2	2	3	2	11	20	3		3	1		11	18	1	1	1	3	1	42	49	
元驅潜特務艇	1		1	1	0 1			5	2	2	3	1	5	13				2	2	4	8		1	1	2	1	24	29	
元哨戒特務艇	1	1	1	1	0 1			6	2	2	3	2	9	18				2	2	4	8		1	1	2	1	29	35	
元掃海特務艇	1	1	1	1	0 1			6	2	2	3	2	9	18				2	2	4	8		1	1	2	1	29	35	
光 濟	1	1	1	1	0 3	1	1	10	2	2	3	4	11	22	3	2	3	2	1	23	34	1	1	3	5	1	62	72	

復員廳第二復員局公報

第九九號

昭和二十二年三月二十八日(金)

第二復員局文書課 接

○令 達

復二第二〇三號

吳地方復員局所管

特別輸送艦

會計課長

部員



同	楓	對馬
同	宇	節
同	海第五十五號	久
同	海第五十八號	
同	海第七十八號	
同	海第七十九號	
同	海第一百六號	
同	海第二百二十六號	
同	海第四百四十二號	
同	海第五百十號	
同	雜	
同	驅潜第九號	
同	驅潜第二十二號	
同	白	琦

右ヲ佐世保地方復員局所管ト改メル。

昭和二十二年三月二十五日

復員廳 總裁

○雜 款

○辭令公報ノ甲、乙區分廢止ノ件

四月一日ヨリ辭令公報ノ甲、乙區分ヲ廢止スル。

○郵便物發送先

試航船 わかくさ丸 兵庫縣明石市

同 桑 丸 山口縣徳島市

同 下關掃海部徳山基地氣付

○殘務整理

一月三十日開始 佐世保地方復員局補給部鹿兒島出張所

鹿兒島市住吉町海岸通り

三月一日開始 特別輸送船度ご丸殘務整理班

吳市下山手町 吳地方復員局經理部内

二月二十八日閉鎖 吳管船部大竹支部殘務整理班

○轉官

復員廳第二復員局公報 第九九號 昭和二十二年三月二十八日

七五

1459

